



2017 年度

**新潟大学大学院現代社会文化研究科  
【博士前期課程】**

**社会文化専攻 国際日本文化分野  
学生募集要項**

**(協定校推薦・10月入学)**

**1 アドミッションポリシー**

新潟大学大学院現代社会文化研究科博士前期課程の社会文化専攻では、下記の目的によって教育研究を進めています。このような教育研究目的に応えて専門職業人・研究者となる意欲と能力を有した人物を募集します。

社会文化専攻は、日本を含むアジア及び世界の言語・歴史・文化に関する高度な知識並びに学際的な分析方法を体系的に教授することによって、これらに関する課題を発見・探求する能力を涵養し、日本を含むアジア及び世界の言語・歴史・文化についての専門知識を有する専門職業人及び研究者を育成します。

本研究科では、この社会文化専攻に、日本語教育とその関連分野についての高度な理解を多面的かつ体系的に教授する教育分野「国際日本文化分野」を設置し、東アジアを中心とした交流のさらなる進展等に、日本語教育によって資することができる人材の育成を図るため、当該分野に入学する学生を募集します。

国際日本文化分野で行う国際日本文化教育プログラムは、日本語教育とその関連分野についての多面的かつ体系的な修得を目的とした科目群により構成されています。

このプログラムを履修することで、日本語教育関連の知識を習得することはもちろん、実習により実際に「日本語を教える」とはどういうことかを経験し、将来は、日本語教育の指導者として活躍できる人材になることが期待されます。

**2 募集人員**

若干人

**3 出願資格**

日本国籍を有しない者で、次の条件を満たす者としてします。

本学又は本研究科及びその母体学部（人文学部・法学部・経済学部・教育学部）と学術交流協定（学生交流に関する覚書を含む。）を締結している海外の大学により人物、学業に優れていると認められ推薦される者で、当該大学を卒業又は2017年9月までに卒業見込みの者

#### 4 出願期間

本研究科への出願期間	留意事項
2016 年 12 月 12 日（月）～ 12 月 16 日（金）[必着]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志願者は、所属大学における出願締切を各大学の事務担当者に問い合わせること。</li> <li>・協定校は、出願書類を取りまとめの上、本学に「EMS」で送付すること。</li> </ul>

※ 上記の期間内に書類を提出した場合でも、出願資格がないと判断された場合には、出願を受け付けずに書類を返却します。この場合、既納の検定料も返還します。

#### 5 出願書類提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地  
新潟大学人文社会科学系大学院学務係

#### 6 出願手続・出願書類

##### (1) 出願書類

入学志願者は、以下の書類等を出願期間内に郵送（海外から郵送する場合は必ず EMS（国際スピード郵便）扱いとすること。）又は持参してください。

出願書類は全て日本語により作成してください。（その他の言語による場合は、日本語訳を添付してください。）

出願書類等	摘要
①入学願書（履歴書）・受験票・写真票	本要項に添付の所定様式を使用してください。
②写真 2 枚	縦 4 cm×横 3 cm, 上半身, 脱帽, 正面向きで出願前 3 ヶ月以内に撮影したもの。裏面に国籍及び氏名を記入し、①の「受験票」及び「写真票」の所定箇所に貼ってください。
③志願理由書	本要項に添付の所定様式を使用してください。
④研究計画書	本要項に添付の所定様式を使用してください。
⑤卒業証明書又は卒業見込証明書	所属（出身）大学が証明したもの。 証明書の代わりに学位記を提出する場合は、必ず原本を提出してください。出願書類を受付後、返却します。
⑥成績証明書	所属（出身）大学が証明したもの。
⑦パスポートの写し又は本国の市民籍等の証明書若しくは戸籍謄本の写し	パスポートを持っている場合は、氏名・国籍・写真・生年月日の記載されたページをコピーし提出してください。 パスポートを持っていない場合は、身分を証明する書類のコピー（氏名・国籍・生年月日が記載されたもの）を提出してください。

	出願書類には、必ずこれらの書類に記載の氏名を用いてください。
⑧日本語能力試験の成績証明書の写し	外国籍を有する者、または日本国籍を有するが日本語を第1言語としない者で、日本語能力試験を受験した経験のある者については、日本語能力試験の成績証明書の写しを提出してください。
⑨受験票返送用封筒 (長形3号 235×150mm)	本人の住所・氏名・郵便番号を明記してください。受験票及び受験案内は、この封筒に記載された住所に送付します。
⑩検定料の振込領収書の写し	「(2)検定料」を参照してください。
⑪推薦書	所属(出身)大学長又は学部長・学科長が作成したもので、厳封のもの。
⑫在留カードの写し (日本国内から出願する場合)	「在留カード」の表面及び裏面の写しを提出してください。
⑬372円分の切手 (日本国内から出願する場合)	「⑨受験票返送用封筒」に372円分の切手を貼付してください。

## (2) 検定料

### 【海外から振り込む場合】

次の要領に従って金融機関より海外送金し、銀行所定の海外送金申請書のコピーを出願書類と共に提出してください。送金手続きを行う金融機関における手数料は、下記送金金額とは別に入学志願者が支払ってください。

送金の種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法	通知払 (Advise and Pay)
送金金額	33,000 円
	※送金金額は、検定料 30,000 円、中継銀行の手数料 1,500 円、被仕向金手数料 1,500 円の合計金額です。
送金目的	入学検定料 (Application Fee)
連絡事項	志願者本人の氏名
送金先	以下のとおり
銀行名	第四銀行 (THE DAISHI BANK LTD)
支店名	内野支店 (UCHINO BRANCH)
口座番号	普通 1 6 5 8 2 5 0
受取人名	国立大学法人新潟大学 (Niigata University)
銀行住所等	〒950-2112 新潟市西区内野町 1036 番地 (1036, Uchino-machi Nishi-ku Niigata 9502112, Japan)
Swift コード	DAISJPJT

### 【日本国内から振り込む場合】

所定の「振込依頼書・振込金及び手数料領収書・検定料納付証明書」に必要事項を記入し、金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で検定料（30,000 円）を振り込みの上、金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を、出願書類と共に提出してください。ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。

（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

なお、振込手数料は、志願者本人の負担になります。

### 【注意事項】

- ① 依頼人氏名欄は、志願者本人の氏名を記入してください。
- ② 検定料の振込みは、以下の期間内に行ってください。

**2016 年 12 月 12 日（月）～12 月 16 日（金）**

- ③ 国費留学生は、検定料の納付は必要ありません。
- ④ 既納の検定料は、返還しません。

ただし、検定料等振込み後、出願期間内にし出願書類を提出しなかった場合は、当該検定料（30,000 円）を返還しますので、「9 出願に関する問い合わせ先」に連絡してください。

また、海外から振り込む場合における中継銀行の手数料は、銀行によって違うことがあり、追徴又は返還する場合があります。

## 7 入学者選抜方法

	摘 要
筆記試験	<ul style="list-style-type: none"><li>・専門科目 1 科目を課します。</li><li>・使用する言語は、日本語とします。</li></ul>
口述試験	<ul style="list-style-type: none"><li>・「志願理由書」「研究計画書」等の出願書類を資料とします。</li><li>・使用する言語は、日本語とします。</li></ul>

※出願書類に故意に虚偽の記入をしたり、カンニングをしたり、試験時間中にスマートフォン等の電子機器類を使用したりすると、不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。詳細については「受験案内」で指示します。

## 8 選抜試験期日、試験会場及び時間割

試験期日・会場	武漢会場	2017年1月18日（水） 華中師範大学 中国 武汉市珞喻路 152 号
	高雄会場	2017年1月20日（金） 高雄大学 台湾 高雄市楠梓区高雄大学路 700 号
	新潟会場	2017年2月15日（水） 新潟大学人文社会科学系棟 ※「9 出願に関する問い合わせ先」住所参照
時間割	筆記試験	10：30 ～ 12：00
	口述試験	13：30 開始

※ 受験に際しての詳細については、受験票送付の際に同封する「受験案内」を熟読してください。志願者には12月22日に発送する予定です。

## 9 出願に関する問い合わせ先

出願に関して疑問、不明な点がある場合は、下記にお問い合わせください。

新潟大学 人文社会科学系大学院学務係

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地

電話 (81)-25-262-6166・6826, E-mail jimugen@cc.niigata-u.ac.jp

## 10 合格者発表

発表日時	発表の方法
武漢及び高雄会場 <b>2017年2月3日（金）</b> <b>10：00</b>	新潟大学大学院現代社会文化研究科棟玄関に合格者の受験番号を掲示し、ホームページ（※）に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には、合格通知書を郵便（海外の場合はEMS）で送付します。 なお、可否についての電話等による問い合わせには、一切応じません。
新潟会場 <b>2017年3月1日（水）</b> <b>10:00</b>	

※ 新潟大学大学院現代社会文化研究科ホームページ <http://www.gens.niigata-u.ac.jp/>

## 11 入学手続

入学手続期間は次のとおりです。

2017年5月29日（月）～6月2日（金）

入学手続に係る詳細は合格者に別途通知しますが，入学料は次のとおりです。

・入学料 282,000 円〔予定額〕

なお，授業料は入学後に納付していただきます。

・授業料 年額 535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）（予定額）  
（在学中に授業料改定が行われた場合は，改定時より新授業料が適用されます。）

## 12 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格者発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及びこれらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，入学者のみ，入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会から連絡を行うために利用する場合があります。

## 「志願理由書」「研究計画書」の書き方について

「志願理由書」「研究計画書」は口述試験に際して重要な参考資料となりますので、下記の点に十分注意して記入してください。

### 「志願理由書」記入の留意点

「志願理由書」には、新潟大学大学院現代社会文化研究科博士前期課程を志願する動機について詳しく記入してください。学部を卒業して受験する人は、たとえば、学部で関心があったテーマは何であり、また、それに関してどのような勉強をしてきたのか、という点を具体的に示し、この勉強をさらに発展させるために大学院進学を希望するようになった、というように記入してください。また、社会人の人は、たとえば、仕事をする中で、あるいは、社会生活を送る中で、どのような問題を深く考えるようになったのかという経緯について具体的に記入した上で、それをさらに深く考えるために大学院進学を希望するようになった、というように記入してください。また、大学院での研究が、自分の将来にとってどのように生かされるか、将来の進路とのかかわりで記述してください。

### 「研究計画書」記入の留意点

「研究計画書」には、「研究題目」を明記し、研究題目についての説明と研究計画・方法について、それぞれ見出しを付けて記述してください。作成の際には、以下の点に注意してください。

#### 1) 研究題目

- a. 入学後、主としてどのような主題の研究をしたいと考えているのか具体的に記入してください。

「〇〇理論について」とか「〇〇に関して」というおおざっぱな表現ではなく、たとえば「〇〇〇〇がなぜ生じるのかについての理論的な解明」とか「日本の〇〇〇〇について」というように、何を研究しようとしているのかがわかるように記入してください。

- b. なぜそのような研究題目にしたのかという理由を、できれば「志願理由書」と関連づけて、具体的に記入してください。たとえば、学部で〇〇理論を勉強するなかで、〇〇現象、〇〇問題を理論的に解明したいという意欲がわいてきて、「〇〇現象（問題）がなぜ生じるのかについての理論的な解明」という研究題目を設定したというように記入してください。
- c. また、何らかの目的があって研究題目を設定した人は、それを具体的に記入してください。たとえば、いま会社員・社会人として〇〇という仕事をしており、〇〇〇〇についてより詳しく勉強すれば、それが〇〇に役立つと思い、「日本の〇〇〇〇について」という研究題目を設定したというように記入してください。

## 2) 研究計画・方法

入学後の学習や研究を進めるにあたってのスケジュール、学習の順序、研究の進め方など、できるだけ具体的に記入してください。もちろん、実際は入学後、教員の指導で計画・方法はかなり異なるものになることは十分予想されます。しかし、ここでは、現時点で考えている計画・方法を書いてください。たとえば、大学院の1年次の前半では〇〇〇〇問題・現象に関する代表的な学説を学習し、1年次の後半では、その中で現実的だと思われる理論やモデルに絞って学習を深める。2年次には具体的なデータや資料を用いながらそのモデルを検証する作業を行い、修士論文に仕上げていく、というような大まかなスケジュールを示した上で、それぞれの段階でどのような文献や資料を利用し、参照するのかということについて、可能な限り具体的に記入してください。

研究によってどのような成果が得られると考えているのか、あるいはこうした成果が上げられたらよいという抱負等がありましたら、「研究により期待される成果」として別に見出しを付けて記入してください。これについては、現実的であるかどうかは問いませんから、たとえば、〇〇〇〇問題（現象）の背景や仕組みが明らかになることによって、現代の社会や文化の将来を考えるうえで、有益な指針が得られることになるというように、できるだけ具体的に記入してください。

※ 志願理由書・研究計画書等は、以下の要領で作成してください。

The diagram shows a form titled "志願理由書" (Statement of Intent). It includes fields for "フリガナ" (Kana name) and "氏名" (Name), and a section for "受験番号" (Examination Number). A large oval indicates the main writing area. Handwritten instructions in boxes point to specific parts of the form:

- 手書き** (Handwritten): Points to the "フリガナ" and "氏名" fields.
- 記入しない** (Do not enter): Points to the "受験番号" field.
- 手書き又は「パソコン等で作成し、枠に収まるように印刷したもの」をのりで貼り付け（続きがある場合は、裏面に続きを貼り付け）** (Handwritten or printed on paper and pasted): Points to the large oval writing area.

志願理由書

フリガナ  
氏名

受験番号

24頁の「志願理由書・研究計画書の書き方について」にしたがって作成してください。パソコン等で作成したものを本用紙に貼付しても構いません。



～ その他 ～

本研究科博士前期課程においては，2 年以上の在学と 30 単位以上の修得及び修士論文の合格を修了要件とします。

科目区分	授業科目	単位数	備 考
必修科目	課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6 単位（各 2 単位）	論文指導科目
専攻必修科目	総合演習	2 単位	
選択科目	教育プログラム開設授業科目	14 単位以上	各自が所属するプログラムから履修
	他教育プログラム開設授業科目	8 単位以上	上記以外のプログラムから履修
合 計		30 単位以上	

社会文化専攻を修了した者に授与される学位は，審査により，修士（文学）又は修士（学術）のいずれかになります。

その他，本研究科については，本研究科ホームページを参照してください。

<http://www.gens.niigata-u.ac.jp/>